

2026年3月期

決算補足説明資料

NICE ナイス株式会社

(証券コード：8089)

この説明資料には将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
将来予測にはリスクや不確定な要因などが含まれており、実際の成果や業績は予想と異なる可能性があります。

目次

1. 2026年3月期 連結業績
2. 2027年3月期 見通し

1. 2026年3月期 連結業績

連結業績 ハイライト

売上高が過去最高水準[※]

- ・各セグメント（建築資材・住宅・その他）がすべて増収
- ・売上高は前期比6.6%増の2,591億54百万円
- ・営業利益は前期比15.0%増の53億22百万円

建築資材事業の建材・住宅設備機器が伸長

- ・前第3四半期より連結子会社化した株式会社セレックスが増収に寄与

住宅事業の中古買取再販マンション等が堅調に推移

- ・中古買取再販マンション売上計上戸数が前期の152戸から194戸に27.6%増加

※前期以前のすべての年度において、収益認識に関する会計基準等を適用したと仮定して算定した売上高は過去最高となりました。

連結業績 概要

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率 (%)
売上高	243,054	259,154	+16,100	+6.6
営業利益	4,628	5,322	+694	+15.0
経常利益	4,305	5,162	+857	+19.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,872	2,586	△285	△9.9
1株当たり当期純利益	242円53銭	218円21銭	△24円32銭	-
EBITDA ※	6,680	7,956	+1,276	+19.1

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

売上高

- ・ 建築資材事業のサッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 住宅事業の中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加したほか、一棟収益不動産の売上計上が寄与

営業利益

- ・ 増収に伴う売上総利益の増加により増益

経常利益

- ・ 持分法による投資利益と支払利息が増加

親会社株主に帰属する 当期純利益

- ・ 補助金収入等の特別利益が減少したほか、法人税等が増加

セグメント別売上高

セグメント別売上高

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率 (%)
建築資材	183,082	193,532	+10,449	+5.7
住宅	50,796	54,931	+4,134	+8.1
その他	9,174	10,690	+1,515	+16.5
合計	243,054	259,154	+16,100	+6.6

建築資材

- ・ サッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 建材・住宅設備機器の新規取引先が増加

住宅

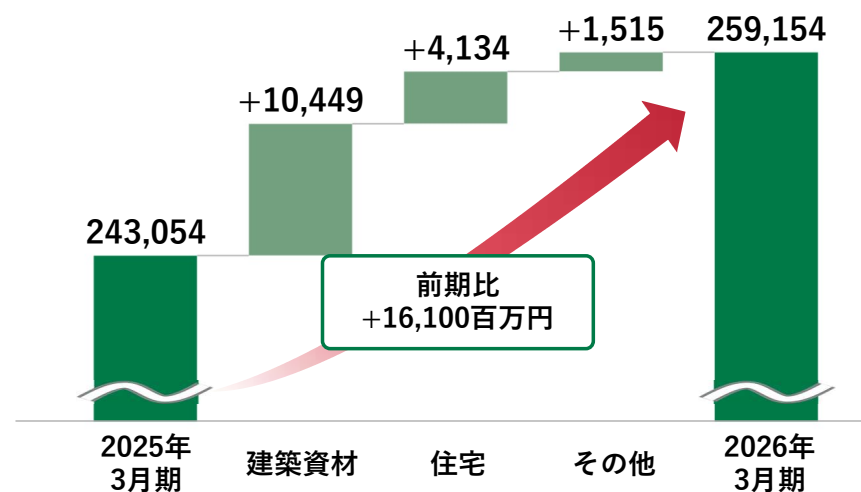
- ・ 中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・ 賃貸管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益不動産の売上計上が寄与

その他

- ・ 建築工事事業等が堅調に推移

セグメント別売上高 増減要因 (前期比)

(単位：百万円)



商品別売上高

(単位：百万円)		2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率 (%)
建築資材	木材	55,339	53,243	△2,095	△3.8
	建材・住宅設備機器	127,477	140,036	+12,559	+9.9
	木材市場	265	252	△13	△5.1
	合計	183,082	193,532	+10,449	+5.7
住宅	マンション	18,476	21,040	+2,563	+13.9
	一戸建住宅	12,636	13,029	+393	+3.1
	管理その他	19,683	20,861	+1,178	+6.0
	合計	50,796	54,931	+4,134	+8.1

- ・国産材の売上が増加した一方、輸入材の売上が減少
- ・サッシ・エクステリア等の売上が増加
- ・新規取引先が増加

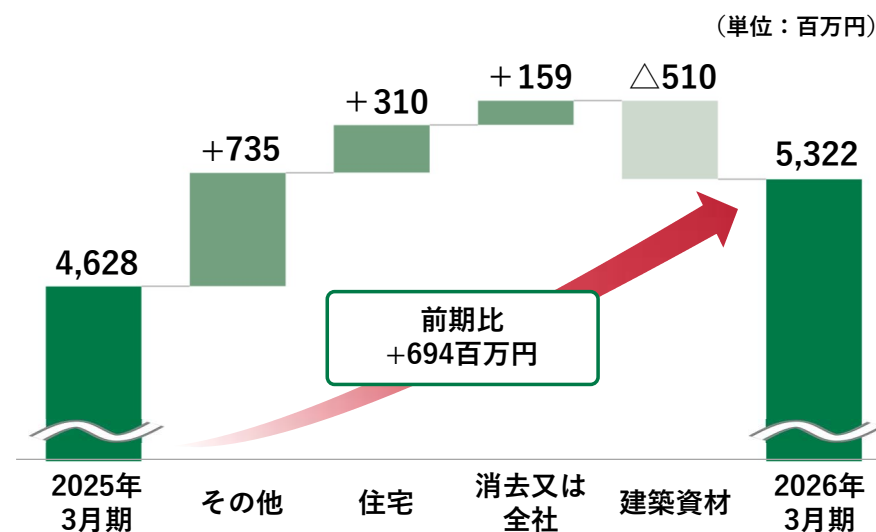
- ・中古買取再販の売上計上戸数が増加
- ・賃貸管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益不動産の売上計上が寄与

セグメント別営業利益

セグメント別営業利益

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率 (%)
建築資材	2,257	1,747	△510	△22.6
住宅	3,582	3,892	+310	+8.7
その他	617	1,352	+735	+119.0
計	6,457	6,992	+534	+8.3
消去又は全社	△1,829	△1,669	+159	-
合計	4,628	5,322	+694	+15.0

セグメント別営業利益 増減要因 (前期比)



建築資材

- ・ 増収となった一方、支払運賃の増加とのれん償却等により減益

住宅

- ・ 中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・ 賃貸管理事業が堅調に推移したほか、一棟収益不動産の売上計上が寄与

その他

- ・ 建築工事事業等が堅調に推移

住宅セグメント 契約戸数・売上計上戸数

2025年3月期

(単位：戸)	①	②	③	①+②-③
	契約済売上 未計上戸数 前期末	契約戸数	売上計上戸数	契約済売上 未計上戸数 当期末
マンション	147	367	363	151
(新築)	(134)	(217)	(211)	(140)
(中古買取再販)	(13)	(150)	(152)	(11)
一戸建住宅	123	272	273	122
合計	270	639	636	273

2026年3月期

	④	⑤	⑥	④+⑤-⑥
	契約済売上 未計上戸数 前期末	契約戸数	売上計上戸数	契約済売上 未計上戸数 当期末
マンション	151	360	394	117
(新築)	(140)	(166)	(200)	(106)
(中古買取再販)	(11)	(194)	(194)	(11)
一戸建住宅	122	269	267	124
合計	273	629	661	241

マンション

・中古買取再販マンションの契約戸数と計上戸数が増加

一戸建住宅

・前年並みで推移

住宅セグメント 販売用不動産の内訳

(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 期末残高	増減額	
住宅事業	完成販売用不動産	5,823	9,950	+4,127	・新築マンションの当期竣工 ・一棟収益不動産の取得
	仕掛販売用不動産	9,013	12,220	+3,207	・新築マンションの建築工事進行 ・中古買取再販マンションの仕入の増加
	開発用不動産	7,778	8,631	+852	・新築分譲用地の増加
	合計	22,615	30,802	+8,187	
うち中古買取再販	完成販売用不動産	931	1,623	+691	
	仕掛販売用不動産	2,729	4,644	+1,915	
	合計	3,660	6,267	+2,606	・事業拡大による仕入の増加

連結貸借対照表 概要

(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 期末残高	増減額	
資産	現金及び預金	25,567	21,422	△4,145	・ 販売用不動産の仕入等に使用
	売上債権・契約資産	42,094	41,873	△221	
	商品	7,785	7,505	△279	
	販売用不動産・未成工事支出金	23,239	31,128	+7,888	・ 中古買取再販マンション及び新築分譲用地の仕入とマンションの建築工事進行に伴い増加
	有形固定資産	46,253	45,868	△385	
	資産合計	171,037	173,471	+2,434	
負債・純資産	仕入債務	44,572	41,872	△2,699	
	借入金	41,903	43,990	+2,087	・ 新築分譲用地の取得等に伴い増加
	負債合計	109,376	108,311	△1,064	
	純資産合計	61,661	65,159	+3,498	
	負債純資産合計	171,037	173,471	+2,434	
自己資本比率	32.9%	34.3%	+1.4pt		

連結キャッシュ・フロー計算書 概要

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,931	△3,202	+1,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,522	△4,576	+2,945
財務活動によるキャッシュ・フロー	45	370	+325
現金及び現金同等物の増減額	△12,422	△7,328	+5,094
現金及び現金同等物の期末残高	29,078	21,780	△7,297

主な内訳

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・新築分譲用地の取得及び新築マンション工事費の支払い
- ・中古買取再販マンションの仕入代金の支払い

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・前期中に竣工した新工場の機械代金の支払い
- ・一棟収益不動産の用地取得による土地代金の支払い

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・新築分譲用地の取得等に伴う借入金の増加
- ・配当金の支払い

2. 2027年3月期 見通し

2027年3月期 連結業績予想（概要）

(単位：百万円)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	増減額
売上高	259,154	270,000	+10,845
建築資材セグメント	193,532	200,000	+6,467
住宅セグメント	54,931	60,000	+5,068
その他	10,690	10,000	△690
営業利益	5,322	5,700	+377
経常利益	5,162	5,200	+37
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,586	3,200	+613
EBITDA ※	7,956	8,300	+343

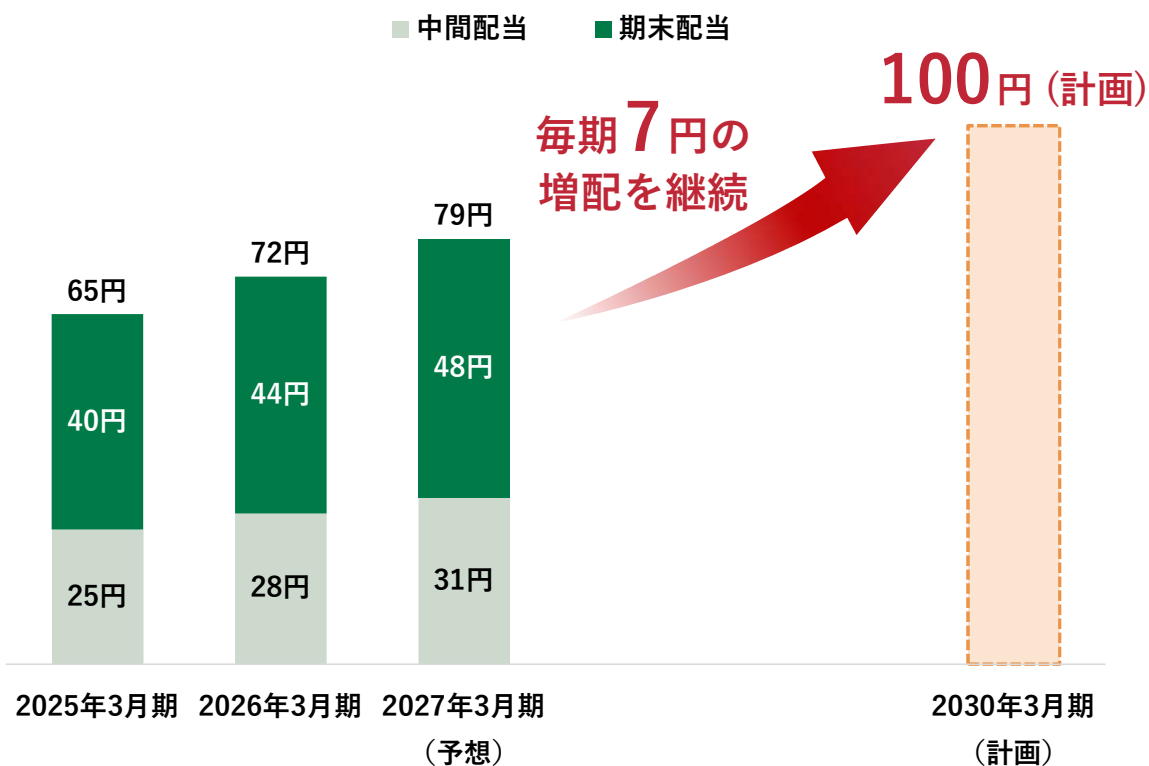
※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

・中東情勢をはじめとする地政学的リスクの影響につきましては、現時点で合理的な算定が困難であるため本見通しには織り込んでおりませんが、今後、業績に重大な影響が生じる場合は速やかに開示いたします。

株主還元

中長期的な持続的成長を通じた累進配当を導入

2030年3月期まで毎期7円増配していく計画



株主優待制度

年に2回、株主優待を実施
保有株式数及び継続保有期間に応じて、以下のとおり緑の募金への寄付金付き「おもいやり」QUOカードを贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満※	3年以上※
100株以上 300株未満	QUOカード 500円	QUOカード 1,000円
300株以上 500株未満	QUOカード 1,000円	QUOカード 2,000円
500株以上	QUOカード 1,500円	QUOカード 3,000円

※「継続保有期間」は、基準日（毎年3月末日及び9月末日）において、同一の株主番号で各区分の最小株式数（100株、300株及び500株）を下回ることなく株主名簿に継続して記載された期間とします。



年2回贈呈

NiCE

木を知り、 暮らしを支える。

木のそばに人がいて、
休むという字になるように。
木と人の安らぎは、切り離せないのかもしれない。
だからNICEはずっと木と人の間にいる。

まっすぐであること。

生命を守りぬく強さを持つこと。
それ以上の優しさで包むこと。
建築資材会社として木に学んできたそれらの思いを、
住宅会社として住まいづくりに活かしながら、
安らぎのある暮らしを支えてきた。
だから、暮らす人の「ああ、ほっとする」と笑う顔が、
何よりもうれしい。

NICEは、これからも、木を育て、木と育てていく。
この国の暮らしを支える大樹になることを目指して。
その木の下で、木漏れ日のなかで、
人々が人生を楽しむ姿を思い描きながら。



NICE ナイス株式会社